

勢和小学校だより

発行日：令和6年11月27日 第20号



「これっていじめかな？」「それっていじめだよ」と判断行動できるために

10月、全てのクラスでいじめに関するアンケートを実施しました。「からかわれた」「ふざけて蹴られた」「無視された」などの行為を受けたという回答は全校で51件、同様の行為を見かけたという回答は全校で18件でした。

行為を受けたとする回答では、「からかわれた」や「嫌なことを言われた」が多く、中にはLINEの書き込みで嫌な思いをしているという回答もありました。「軽く蹴られる」など、暴力を受けたという回答も複数ありました。「ドッジボールの片付けを、最後に当てられた人に押しつけてくる」など、遊び方について不満を抱いている回答もありました。

「からかい」等の行為を見かけたとする回答では、「Aさんが悪口を言われていた。」「BさんがCさんにたたかれていた。」などの回答がありました。

アンケート回答を把握後、現在は担任を中心に児童一人ひとりに聞き取りを行い事実確認をし、問題対策チームで取組を決定し指導・対応しています。また、未然防止に向け、クラス全体や学校全体で約束事や望ましい言動などを話し合い、期間を決め実践させ、自分たちの行動を振り返り、日頃からいじめに対して客観的に認知(メタ認知)し、持続的に自分たちの言動を振り返る機会をつくっていきます。

個別対応した事案についてはご家庭にお知らせします。



■ハラスメント意識の向上

大人社会ではハラスメントに対する意識が高くなり、互いに言動を気をつけ合う雰囲気ができつつあります。ハラスメントが言われた時は、「そんなこと気にしていたら、何も言えなくなる。」という声を聞いたことがあり、相手への配慮より自分本位の意見だったのだと思います。

時代が進み、相手の気持ちを尊重する考えがより強くなり、最近では「ルッキズム」(外見至上主義)を見直す動きもあります。

学校生活においても、いじめ同様ハラスメントについては発達段階に応じて指導していますが、「これってハラスメントかな?」「いじめかな?」と自分自身で気をつけられる子どもたちになれるよう、ご家庭でも協力をお願いします。



子どもたちをつなぐリレーションづくり

3年生では、通院やおうちの都合で遅刻して登校してきた際、「教室に入りにくい。」という子どもたちの思いから、授業中でも「おはよう。」などの挨拶を積極的にしていこうと約束事を決め、夏休み前から実践しています。

早退する時も、遠慮してこっそり帰らず、堂々と帰っていきように「さようなら。」等と互いが挨拶していこうと話合っています。

この挨拶の取り組みは、子どもたちに孤立感を覚えさせないことにつながり、子どもたちにとって居心地の良い学級になっていきます。

最近では、「校長先生が教室に来たら、挨拶しよう。」ということ話を話合ったようで、教室に入ると元気な挨拶をしてもらっています。

このような誰にとっても安心できる関係性をリレーションといいいます。

子どもたちにとって居心地のよいクラスをつくるためには、「人が発表しているときにはしゃべらない」などのルールづくりと、「友だちが係や当番の仕事をし終えたら『お疲れ様』と言おう。」等のリレーションづくりが必要になってきます。

本校ではそれぞれのクラスでもルールづくりとリレーションづくりに取り組み、誰にとっても安心・安全で居心地の良いクラスづくりを進めています。



夜型傾向 強まっているか

先日、3年生以上の児童を対象に「すいみんアンケート」を実施しました。詳細は後日、保健だよりでお知らせしますが、以下、簡単に概要を紹介します。

10時以降	37.2%
高学年	45.7%
中学年	27.1%

11時以降	12.4%
高学年	15.7%
中学年	8.5%

平日10時以降に就寝するとの回答は全体で37%で、高学年ではほぼ半数に近い人が10時以降に寝ているという結果でした。



さらに11時以降に就寝しているとした回答は全体で約12%で、中学年でも約8%の人が遅くまで起きているようです。

「朝、すっきり起きられるか」の問いでは、10時以降に就寝する人の46.1%がスッキリ起きられると回答していることに対して、10時までに就寝している人は72.8%がスッキリ起きられると回答しています。

朝、スッキリ起きられるかどうかは、タブレットなどの端末を就寝前に触れていることも影響していることが推察されますが、就寝時刻と質の良い起床には大きな関係があることが今回のアンケート結果からも分かります。

ぐっすり眠れて翌日の活動や生活に影響が出ないよう、早めの就寝を心がけてほしいものです。ご家庭での言葉がけもお願いいたします。

